

業務用キャベツにおける菌核病の防除対策

農業試験場 主査研究員 菱池 政志

【要約】

菌核病の伝染源である子う胞子の飛散期間はおおむね10月中下旬から12月上中旬までと、3月上旬から5月下旬までであり、この時期にカンタスドライフロアブル、シグナムWDGまたはファンタジスタ顆粒水和剤で防除すると効果が認められた。

【背景・ねらい】

春どりキャベツ栽培において、菌核病が多発し、問題となっている。菌核病は子う胞子の飛散によって伝染する病害であるが、本県における子う胞子の飛散期間は明らかでない。また、主要薬剤の残効期間も明らかでない。そこで、効率的な防除体系を確立するため、伝染源である子う胞子の飛散期間、数種薬剤の防除効果および残効期間を調査した。

【成果の内容・特徴】

1. 菌核病菌の子う胞子の飛散期間は、おおむね10月中下旬から12月上中旬までと、3月上旬から5月下旬までであった。
2. シグナムWDG、カンタスドライフロアブル、ファンタジスタ顆粒水和剤の防除効果が高かった。
3. シグナムWDG、カンタスドライフロアブルは約1か月間の残効が認められた(図1)。
4. 春キャベツでは、12月と2月下旬に体系防除を行うことで菌核病に対して防除効果が認められた(図2)。

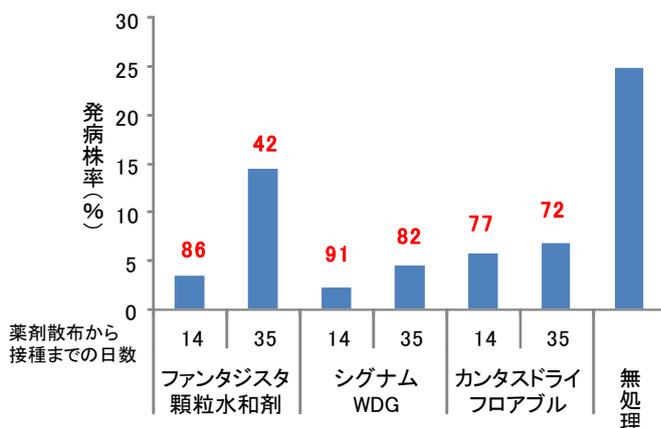


図1 キャベツ菌核病に対する数種薬剤の残効性
接種日:2018年4月17日 調査日:5月28日 図中の数字は防除値

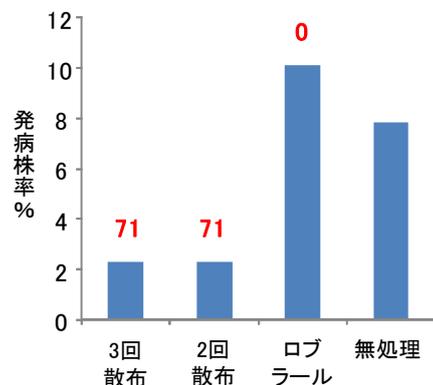


図2 キャベツ菌核病に対する体系防除の防除効果
調査日:2019年4月19日 図中の数字は防除値
3回散布:12/1 カンタス、12/19 ファンタジスタ、2/26 シグナム
2回散布:12/1 カンタス、2/26 ファンタジスタ
ロブラール:12/1、12/19、2/26 ロブラール水和剤